

たいない

議会だより

No.59

平成31年2月15日
(2019年)

【題字】齋藤 愛梨奈さん

あかね町在住の石山さんファミリー

左から

菜瑠弥 (なるみ) さん 5歳
拓弥 (たくみ) さん 小6
琴弥 (ことみ) さん 小3



女性委員・会員との意見交換会
一般質問 (9人)

平成30年第4回定例会議決結果
常任委員会審査

閉会中所管事務調査報告・会派視察報告

2～3ページ

4～12ページ

13ページ

13～14ページ

15ページ

意見交換会を開催！



【産業文化会館で行われた意見交換の様子】

市議会では、平成30年11月18日（日曜日）に市内の各種団体等で活動されている女性委員・会員の皆様との意見交換会を開催しました。当日は、22名（14団体）に参加いただき、グループに分かれ「子育て・教育・学び」、「健康・福祉」、「産業・雇用・生活基盤」の3テーマについて意見交換を行いました。

参加者からいただいた貴重なご意見は、市執行部と情報共有を図るため、市長へ渡すとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、主な意見等を次ページに掲載しましたが、全ての内容は市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

○参加いただいた女性委員・会員

- ①青少年育成市民会議 ②市PTA連絡協議会 ③板額会 ④J A胎内市女性部
- ⑤市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会 ⑥中条町商工会女性部
- ⑦黒川商工会女性部 ⑧保健推進委員 ⑨農村地域生活アドバイザー ⑩胎内市民生児童委員連合会
- ⑪胎内市消防団 ⑫胎内美人妻の会 ⑬胎内市男女共同参画推進委員会
- ⑭市内保育園・こども園保護者会

※市報・ホームページで一般参加者を公募しましたが、応募はありませんでした。

開かれた議会を目指して

女性委員・会員との

女性委員・会員との意見交換会（主な意見）

項目	質問・要望等
子育て・教育・学びについて	・市が実施している子育てに関する具体的な制度や相談できる場所などの情報を母子手帳をもらう時など、子どもが生まれる前の余裕がある時に知りたい。また、紙を渡すだけでなく、簡単でいいので内容説明をしてもらえると助かる。また、入園式など、節目ごとにそういった情報がもらえるといい。
	・子どもに障がいがあり支援が必要な学校に通わせようと思うが、今通っている学校に聞いても情報が得られず、情報収集が大変だった。結局、自分で調べたり、市内の支援学級を見学したり、同じ障がいのある子の親に聞いたりした。もう少し、そういった情報を調べられる環境を整備して欲しい。
	・中学校の生徒数の減少で部活数が減少し、好きな部活、続けてきた部活ができず、他校に転校する生徒もいる。ぶれすぼ、陸上競技場などを活用することで、転校せずにやりたい競技を続けるようにできないか。
	・市長、教育長（教育委員会）とPTA・保護者等で子どもの部活・教育について意見交換の場を設けてもらいたい。
	・お金のかからない公園がほしい。樽ヶ橋遊園の遊具を無料にしてほしい（市民は無料などのメリットがほしい）。
健康・福祉について	・いろんなサロンがあると思った。歩くのがやっとな人。男性が少ないのが課題。保育園で祖母との交流で、車椅子の祖母が来たが対応がなかった。運動会でも車椅子の人の配慮があったらいいと思う。
	・成功している所はサロンの目的を作っている。手品、アコーディオン、防災に関する備え等。
	・町内で世代間交流ができればいい。祭りとか餅つき大会等。町内で子育てできれば最高。
	・介護保険料、どうにかならないか。年金生活の人も高いと言う。支払うことになったばかりの人からも言われる。検討いただきたい。
産業・雇用・生活基盤について	・パッケージをかわいくすると売れた例もある。商品も含めアイデア勝負というところがあるが、当たらなければすぐに赤字になる。現在は協力隊の活動を見ている。1次産業だけで手いっぱい。2次産業の方と連携を取りたい。つながりが欲しい。それでリスク分散できる。
	・応急救護の訓練を各地域でやっているが、日程が合わないのか若者がこない。新栄町の黄色い旗を使った安否確認の取り組みはよい。また、台風の際、胎内市は避難所を開設したが、それがどこなのかかわからない人がいた。
	・黒川地区の方はぶれすぼが遠いと感じている。胎内市はここ一か所だけだった。いざというときは気が動転する。避難所へ行くための訓練が必要では。また、周知の方法も検討してもらいたい。
	・選挙は、お願いされたから投票している人が多いと感じる。そういった意味で自立している女性を増やしたい。また、政治や選挙に関心を持ってもらうことが必要ではないか。市役所職員にも市民目線を持ってもらいたい。



佐藤 陽志 議員

ロイヤル胎内パークホテル周辺の 観光について

議員 現在の胎内平キャンプ場をオートキャンプ場としてはどうか伺う。

市長 この施設の望ましいあり方について今後検討していきたい。

議員 グランドゴルフ人口は増えている。そのような方を対象としたヘルスツーリズムの視点を取り入れた旅行商品を企画してはどうか伺う。

市長 ロイヤル胎内パークホテルでの食事や入浴などを組み合わせたプランを企画できるのか、株式会社胎内リゾートと調整を図っていきたい。

議員 胎内市のブナの巨木をどのようにPRし、活用していくのか伺う。

市長 SNSや新聞、ツアーの開催による情報発信やブナの巨樹の命名などを検討していきたい。



ブナの巨木

SDGs 持続可能な 開発目標について

議員 SDGsとは持続可能な開発目標であり、国は自治体における取組を推奨している。胎内市ではこれまでに導入に向けた検討は行ってきたのか。

市長 各種計画にSDGsの要素を盛り込むことについては、国の実施方針の精査を進めた上で、その趣旨を踏まえて対応していきたい。

議員 気候変動や環境汚染、生物多様性の保全などについて、胎内市としても対応可能な対策はあるか。

市長 分別やリサイクルの徹底、マイバッグやマイボトルの普及促進など、ライフスタイルの見直しについて働きかけていきたい。



資源のリサイクル

子どもの貧困対策 について

議員 生活困窮者自立支援制度の発足から3年となるが、子どもの学習支援についての実績と評価を伺う。

市長 平成29年度では小学生6人と中学生3人に対し、延べ483回実施している。しかし、まだごく一部の利用にとどまっていることから、さらなる周知と積極的な働きかけを行い、支援の手が行き届くよう取り組んでいく。

議員 胎内市として、より多くの子どもたちを支援するため、集合型での実施を検討できないか伺う。

市長 集合型での学習支援を希望する世帯もいると考えられることから、来年度から事業実施を予定している第三の居場所を紹介するなど、世帯のニーズに沿った支援を検討していきたい。





坂上 隆夫 議員

有害鳥獣対策について

議員 野猿対策の現状と今後の課題について。

市長 山間地域を中心に毎年のように発生しており、平成29年度では被害金額が約140万円となっている。猟友会等に駆除をお願いしており、昨年度の猿の捕獲頭数は94頭となっている。電気柵の設置が進んでいないことから、農業者に対し、その設置経費の補助等を行っている。

議員 市としてモンキードックを育成する考えはあるか。

市長 今年度市民から提供していただき、モンキードッグの育成を行った。今後の成果を検証しつつ、その有効性が確認できれば、関係協議会を実施主体としてさらなる推進を図りたい。

議員 数年前から出没している猪について何か対策はあるのか。

市長 一部で被害が発生していることから、早急に対策を図る必要がある。各地区の猟友会等と協議の場で国の交付金を活用した防護柵や捕獲機材の導入などの事業を提案する。被害防止に向けた体制づくり、捕獲方法及び捕獲技術の向上の方策についても先進地の取り組みや専門家の意見等を参考にしながら、必要な備えを図りたい。



胎内市第一号のモンキードック

新潟食料農業大学との連携について

議員 今年度開校した新潟食料農業大学は、J A胎内市、胎内市と連携協定し、今後の農業振興に期待が寄せられているが、今後市として何か具体的な取り組みについて伺う。

市長 この協定自体は包括的なものであり、これらに関する事業や取り組みは、三者それぞれの提案や要請等により具体化していく事になると思う。市民からこの協定に合致するような提案等があった場合には大学となつたときは、取り組みが円滑かつ効率的に進むよう、市が積極的に関与していく。

議員 大学側から市への要請はあるか。

市長 協定締結以前から相互の提案や要望により、学生に対し農作業体験の提供、三八市、米粉フェスタへの出店、既に地域の中で連携が図られている。先生方も学生も前向きに、積極的に地域に農業に参画している。鼓岡集落内でのマコモタケの農作業体験を契機として、今後大学側でマコモタケの成分分析による食品機能性の検証を行うことで、今後の展開

に大きく期待している。J A胎内市と大学の連携による取り組みの一つとして、今年度大学が市内のほ場約200か所で、土壌分析を実施し、J A胎内市にフィードバックして行くことが進められている。今後3千か所を目標に分析を進める。

議員 今後のほ場整備事業では、国の方針で面積の2割の高収益作物を栽培することになるが、栽培条件の悪い中山間地も含まれており、大学との連携について何か考えはあるか。

市長 大学側の知見を生かし協議の場を設け、推進を図っていく。

農林水産課長 中山間地は雪で作付期間が短い。鳥獣被害による作付可能作物が限られることから、中山間地のは場整備の2割の面積に対応した作付できる作物などを農家も含めて検討していきたい。



新潟食料農業大学

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 宏行 議員

事業見直し 市民に対する理解は

議員 事業見直しは、財源不足解消のための一時的なものか。市長は、事業見直しは選択と集中、未来への投資のためとしているが、市長の目指すものは何か。

市長 市の財政状況は、地方交付税などの一般財源収入や財政調整基金残高の減少などにより非常に厳しいものとなっている。財政運営の厳しさは、今後変わらないことから事業見直しは一時的なものではなく、社会状況の変化に対応するための恒久的なものと考えている。

目指すものについては、地域が持続可能であり、そこに住む人たちが健やかで生きがいを持って生活を送ることができることである。

議員 事業見直しで、胎内アウレツ館運営事業を休止としているが、合宿誘致事業の今後の考えは。



胎内アウレツ館

市長 本年6月から胎内アウレツ館運営検討プロジェクトチームを設置し検討してきた。耐震補強の費用と老朽化に伴う大規模改修費用を試算したところ8億円弱見込まれる。さらに単年度の運営費で約3千万円の赤字運営になっていることから、31年度から休止を考えている。これまで受け入れを行ってきた団体については、市内の旅館等の民間宿泊施設や「新潟県少年自然の家」を利用するよう案内する。

議員 事業見直しに対し、市民の理解をどのように求めていくのか。

市長 市民の理解醸成については、これまでも地域の方々と様々な機会を通じて話し合いをしてきた。それぞれの事業に関連する方々へは、各担当課も含めて丁寧説明し、きめ細かな理解醸成に努めてきた。

通学路の安全対策とスクールバスについて

議員 各小学校の通学路の安全点検実施状況と推進体制は。

教育長 胎内市通学路交通安全プログラムに基づき実施している。

このプログラムは、教育委員会、警

察、学校及び市役所関係課を構成員とし、各学校からの要望を受け、年1回合同点検を実施しており、対策が必要な箇所については、関係者間で連携を図りながら対策を実施している。

議員 スクールバスの運行基準は、児童の体力やランドセル、手荷物などの重さを考慮した基準になっているか。

教育長 スクールバスは、主に通学距離や地理的な条件等を緩和した基準により運行している。児童の体力、手荷物の重さへの配慮については、本年9月、文部科学省からの児童生徒の携行品に係る配慮についての通知を受け、教育委員会として各学校へ保護者等と連携しながら、各学校の児童生徒の携行品に係る配慮が、確実に行えるよう指導していく。



スクールバス



森本 将司 議員

胎内市事業の見直しに伴う 今後の見通しについて

議員 先の全員協議会において7億5千万円を削減目標に事業の見直しをしたいとあったが今後の見通しは。

市長 7億5千万円という数字はあくまで平成30年度ベースである。来年度予算については少なくとも4億円から5億円は削減しなければならぬ。今後は、行政サービスの質と量を減らさないようサービスに直接関係しない部分についてスポットを当てながら考えていく。

議員 事業の見直しについて行政と議会だけで決定するのではなく、時間はないが第三者委員会を設置するべきではないか。

市長 事業内容が多岐にわたるため委員の選出を含めて難しいと考える。

議員 胎内リゾートの各施設も見直し対象となっているが、今後の見通しは。

市長 アウレツツ館に関しては、老朽化に伴う改修費を考えると休止せざるを得ない。他の施設については利用動向を分析しつつ、土日のみの開館など検討していきたい。

議員 改正水道法が可決されたが、新潟県は水道事業の広域化を考えているという。市長の考えは。

市長 市民にとって安全で有益な水道事業が実施できるのであれば民間事業、広域事業に参画を検討することは必要と考える。



胎内アウレツツ館

買い物のついでに 投票できる環境を

議員 来春の統一地方選挙に向けて新発田市や上越市では商業施設内に期日前投票所を設けるとのことである。当胎内市では9月の市議会議員選挙では前々回に比べ11%投票率が低下した。利便性の向上や啓発を含めて胎内市でも商業施設への設置をするべきと考えるがいかがか。

選挙管理委員長 市民に対するアン

ケート調査をするなどして有権者の意見も踏まえつつ試行も含めて検討する。

議員 全国的に投票所の削減が行われる中で来年度には黒川支所も廃止予定との話もあるが、その際の投票所も含めて今後について伺う。

選挙管理委員会書記長 黒川支所の期日前投票所については縮小、20か所ある当日投票所についても統合を含めて考えている。黒川支所のコストを商業施設の期日前投票所に回すということも考えられると思うので今後、新発田市、上越市の結果を見つつ考えたい。



黒川支所

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



八幡 元弘 議員

「城の山古墳」について

議員 現在のところ、円墳と考えられているが、前方後円墳の可能性は。

教育長 東側から南側では前方部がないと確認されているが、西側から北側では前方後円墳の可能性を残している。

議員 副葬品が国の重要文化財となる可能性は。また、古墳の近くに展示室を設けPRしては。

教育長 可能性は十分あると考えている。展示室は整備活用計画策定の中で検討していきたい。

議員 胎内市にある歴史や文化として、積極的に情報発信し、活性化に活用しては。

教育長 史跡指定を受けて来年度に、城の山古墳国指定記念講演会等を計



城の山古墳

画している。奥山荘歴史の広場と併せてゾーニングし、原始から中世の胎内市の歴史ロマンを発信し市内外の方々に史跡を訪れてもらえるよう努めていきたい。

議員 今後発掘を行う場合に、市民や小中学生に発掘体験の機会を設けては。

教育長 状況を見ながら体験する機会の設定を検討していきたい。

日本海沿岸東北自動車道について

議員 中条インターチェンジと荒川胎内インターチェンジ間で交通事故が度々発生し、ブラックアイスバーンによる重大な事故も起きている。関係機関に働きかけが必要では。

市長 必要に応じ関係機関や日沿道の期成同盟会を通じ国土交通省へも働きかけを行っていきたい。

胎内川に架かる橋梁について

議員 胎内川の県道である橋梁でメンテナンス、補修を頻繁に目にする。幅員の狭い橋梁や歩道のない橋梁もあるが、安全性に問題はないのか。関係機関に働きかけが必要では。

市長 5年毎に点検され補修が行われており、構造自体の安全性に問題はないと考えている。幅員が狭く往

来に支障が生じている橋梁があることも認識しており、必要性がある場合は、県に対し歩道等の設置を要望している。



胎内川の橋梁

津波浸水想定について

議員 昨年11月に県が新たに津波浸水想定を公表した。それに伴ったハザードマップはいつごろまでに作成し、配布する予定か。

市長 津波到達時間や高さは現状のもの比べ、殆ど変わらないことを確認している。奥胎内ダムの稼働に伴う水害ハザードマップを2020年に更新し、これと併せて配布したいと考えている。



渡辺 栄六 議員

公共交通の利便性向上について

議員 デマンドタクシーの登録者数及び利用者数と土日、祝日利用者数は。

市長 登録者数は平成29年度では8千669人となっており、利用者数は年々増加しており、約5万5千人程度である。土日、祝日の利用者数についても増加しており、平成29年度は8千932人となっている。

議員 県立新発田病院までの運行また、塩の湯温泉までの直行便の計画は考えているか。

総合政策課長 今後の利用状況や費用対効果も十分に勘案しながら見直していく。

議員 高齢者や障がい者の方に対する回数券等の割引制度と、土日、祝

日の増便についての考えは。

市長 収益の向上や利用者の増加等の見込を勘案し、検討していく。

デマンドタクシーのカタログ



児童・生徒の健康と安全について

議員 全国規模で小中学校のランドセルやかばんの重さに対する対応が問われているが、この問題をどのように捉え対応策をしていくのか。

教育長 学習用具を計画的に持ち帰らせるなど保護者等と連携して、児童生徒の健康や安全に留意した取り組みを確実に進めるよう指示している。

議員 教育委員会として通学時の重さについて調査を行い、各学校に情報提供し、どのような通学がいいのか協議すべきでないか。

教育長 各学校の実施状況や問題点についての情報交換をもとにして、これまで以上に通学時の健康や安全をどのように確保していくかを協議していきたい。

議員 本市においては計画的に学校に副教材などを置いて帰るいわゆる「置き勉」を認めているか。

教育長 校長の裁量で教材を置くようにということとは校長会でも指示している。

合葬墓地の整備計画について

議員 市営船戸霊園の利用状況と、今後の見込は。

市長 現時点では256区画のうち198区画が使用許可済みとなっており、残り58区画の状況である。今後五、六年のうちには全て使用申し込みがなされると見込んでいる。

議員 市営霊園に合葬墓（共同墓）の整備計画は考えられないか。

市長 墓地の継承者の有無、宗派を問わない公営の合葬墓を望む方が今後増えてくることも考えられるので、新たな公営の墓所形態のあり方やニーズとしての確に把握していく必要があるものと考えている。



市営船戸霊園の入口看板

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



羽田野孝子 議員

地域生活支援拠点等の整備について

議員 平成30年度からの第5期胎内

市障がい福祉計画では、地域生活支援拠点等を平成32年度末までに設置すると目標設定しているが、どんな機能を備えたものを考えているのか。

市長 24時間365日の連絡体制、介護者の急病や障がいのある方の状態変化等による緊急時の受け入れや医療機関への連絡、施設や親元からの自立に向けたグループホームの利用や一人暮らし体験の機会や場を提供すること等が挙げられる。障がいのある方が地域で安心して生活できるように、段階的に拠点となり得る施設を整備していく。

議員 設置するまでの間、重度の方のショートステイを受け入れる体制

を整えることはできないか。

市長 現在、重度の障がいのある方が利用することができるところが、近隣の事業所は市内に2か所、近隣市に5か所整備されている。体験して備えてもらい、関係者間で情報共有を図り、十分なケアができるよう対応していく。

議員 ショートステイが受けられないと困っておられる方については相談機関だけでなく、市の係でも対応していただきたい。

福祉介護課長 相談支援員からの相談、利用調整に苦慮されているご家族からの相談には解決策、代替案の提案をしているが、今後もしっかりと対応していく。

障がい者が外出しやすい環境づくりについて

議員 スーパー等に車椅子を置いて、医院の男子トイレに手すりを付けてもらうよう働きかけてもらえないか。タクシー券をのれんす号で使えるようにできないか伺う。

市長 障がい者の方々が暮らしやすくなる働きかけはしていく。のれんす号の利用は前向きに協議していく。



ホームセンターに置かれた車椅子

産後のファミリーサポートについて

議員 ファミリーサポートセンターの利用状況について。産後の世話を受けられる体制がとれないか。

市長 開始した平成23年度の利用は30人100件、平成29年度は200人800件に増えた。提供会員は30人から70人に増えたが、さらに人材確保に努めていく。産後の支援は民間団体等の状況も把握しながら検討していく。



子育て世代包括支援センターすくすく

観光振興について



森田 幸衛 議員

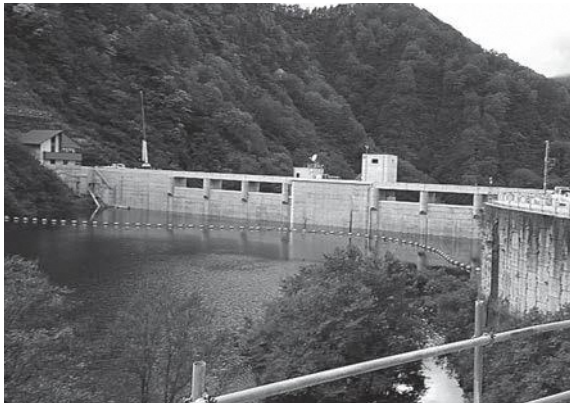
議員 約30年の歳月と約350億円の総工費を掛けて本年度完成する奥胎内ダムを、胎内市の新たな観光資源として活用すべきではないか。

市長 奥胎内ダムが国立公園内にあるので、自然保護の為に奥胎内ヒュッテから徒歩または自転車による通行のみとする制限を施しているが、例えば月に一度ぐらいバスツアーを実施できるのかという具体的なことについて、環境省や県とも調整を図りながら進めていきたい。

議員 ダム湖で遊覧船や貸しボートなどを売り出しているかどうか。

市長 安全面や、環境を損なわないということならば、趣向を凝らして多くの人に楽しんでもらえる方向

づけをしていきたい。



奥胎内ダム



自転車レース

議員 紅葉の綺麗なシーズンに奥胎内ダムをゴールにして、胎内市を縦断する自転車レース「奥胎内ヒルクライム」を開催してはどうか。

市長 第一発電所から上流は道幅が狭く危険であり、専門家の意見を拝聴して、安全性に対する検証を行う必要がある。大丈夫であれば、前向きに開催の有益性を踏まえつつ、実行できるのかどうかを結論づけていきたい。

議員 第3回定例会で「NGT48の長谷川玲奈さんのPR大使としての

意義や有益性について認識しながら取組ませていただくと思う」という答弁だったが、その後の具体的な検討内容やアプローチについては。

市長 テレビ局とのタイアップでの起用や観光協会イベントへの出演などについて検討を進めてきた。運営会社と年度末までに、私自身、直接交渉に当たって、その可否を決定していこうと思っている。

教育振興について

議員 スクールバスの業務委託契約が毎回のようスムーズにいかない事についての見解と今後の対策は。

教育長 制限付一般競争入札で契約手続を行っており、入札が予定価格に達しない、または入札参加者がいない等の状況により、幾つかの学校の契約先が予定した時期までに決まらないという事態が生じた。全国的な運転員不足により、業者も人員確保に苦慮していることが要因の一つと考えてる。今後は入札時期を早めるなどの対策を考えている。



丸山 孝博 議員

買い物困難者に対する支援を

議員 ひとり暮らし老人世帯が増加する一方、相次ぐチェーン店などの出店による影響等で、身近にある地元商店の閉店が相次いでいる。高齢者を中心として、食品品等の日常の買い物困難な状況に置かれている買い物困難者が増えているが、市長の認識はどうか。

市長 市では、買い物支援が必要な人数等は把握していないが、地域の方々と商店及び移動販売業者への聞き取り調査によってうかがい知るところであって、支援を行き届くようにしなければならぬと考えている。
議員 聞き取りなどによる実態を早急に把握し、行政が積極的にかかわって支援が必要な世帯、支援を求めて

いる世帯に対し、救済することが強く求められているかどうか。

市長 来年度中の実施を目指しているものとして、NPOによる買い物送迎をはじめ、地域の実情に応じた支援を行いたい。



移動販売車

事業見直しについて

議員 事業見直しについて議会に公表したが市民に対しても公表し、意見集約を行うべきでないか。

市長 すべての部分についてすべての方々から意見集約を行うことは現実的でないし、合理的でもない。

議員 市民にも公開し、意見集約することがなぜできないのか。

聖籠町では全町民を対象に、3会場で、事業見直しの説明会を実施している。市民協働を中心としたまちづくりを公言している市長に期待したいがどうか。

市長 見直しする項目が煮詰まったから市民にお伝えする。情報開示は、しっかり行うべきだと考えている。しかるべきタイミングで趣旨も踏まえてお示ししたい。

議員 事業見直しでは保育園バスの利用者負担や下水道料金の検討など、市民に負担を強いる事業が含まれているが、市長が身を切る覚悟を示さないで、どうして財政再建策に市民が納得するか。先ず臆より始めよという言葉があるが、市長の考えは。
市長 自らの報酬削減の効果はさほ

どのものでないので、現時点で削減は考えていないが、将来的に実施が妥当であると考えた場合は実施する。



保育園バス

議員 毎年フルーツパークへ1千500万円を補助金として支出し、37年度まで続くということだが、ロイヤル胎内パークホテル建設の起債の内容は。また、工業団地の進出企業に優遇している固定資産税の課税免除終了による税収の推移はどうか。

財政課長 平成29年度末残高は、3億8千700万円、平成32年度までである。

税務課長 平成31年度は2社で3千400万円、32年度も2社で5千800万円、33年度、5社で2千300万円、34年度、2社で3千800万円が課税免除を終了すると推計している。

平成30年 第4回定例会議決結果

第4回定例会は、12月4日から12月21日までの18日間にわたって開催されました。市長提出議案では、補正予算9件、条例の一部改正3件、条例の廃止1件、その他4件が審議されました。議員提出議案では、意見書等2件が審議され、下記のとおり議決されました。

全会一致で可決(同意)された議案	
平成30年度補正予算 <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算(第6号) ・一般会計補正予算(第7号) ・介護保険事業特別会計補正予算(第3号) ・介護保険事業特別会計補正予算(第4号) ・農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) ・簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) ・水道事業会計補正予算(第2号) ・工業用水道事業会計補正予算(第1号) ・公共下水道事業会計補正予算(第2号) 	条例の廃止 <ul style="list-style-type: none"> ・清掃センター条例を廃止する条例
条例の一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・中条駅前広場条例の一部を改正する条例 ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理に関する事務の受託の廃止について ・公の施設に係る指定管理者の指定 <ul style="list-style-type: none"> 【施設名】総合体育館ほか13施設 【管理者】NPO法人スポーツクラブたいない ・公の施設に係る指定管理者の指定 <ul style="list-style-type: none"> 【施設名】デイサービスセンター栗木野荘・いわはら荘 【管理者】社会福祉法人胎内市社会福祉協議会 ・公の施設に係る指定管理者の指定 <ul style="list-style-type: none"> 【施設名】デイケアセンターと・も・だ・ち 【管理者】医療法人社団共生会
議員提出議案 <ul style="list-style-type: none"> ・市長の専決事項の指定についての一部改正について 【提案者：議会運営委員長 丸山孝博 議員】 内容：損害賠償の額の決定及び和解をすることに關し、専決処分にすることができる額を1件30万円以下から1件50万円以下にするもの ・国民健康保険料(税)の国庫負担割合の引上げ及び子どもの均等割軽減を求める意見書 【提案者：羽田野孝子 議員】 内容：国民健康保険被保険者の負担軽減に向け、国庫負担割合の引上げ及び子どもの均等割軽減を求める意見書を国へ要望するもの 	

常任委員会審査

総務文教

公の施設に係る指定管理者の指定について

平成28年度に比べれば胎内が完成したことをきっかけに市内の15の施設を指定管理者に管理をお願いしてきたが、契約が3年契約で今年度で終了することから、31年度に改めて指定を行うもの。利用頻度が少ない施設やすでに使用していない4施設を直営管理に戻し、新しく追加する施設は、「サンビレッジ中条」、「国際交流公園テニスコート」、「鴻の巣公園テニスコート」の3施設。指定管理の方法は、これまでは施設の管理のみで、受付業務は切り離して委託をお願いしていたが、来年度からは受付と施設の管理両方とも指定管理者の業務に含め、施設使用料も指定管理者の収入となる本来の指定管理の形にしたい。指定管理をお願いしたいと考えている団体は、「NPO法人スポーツクラブたいない」で指定管

指定管理者が管理を行う施設		
1	総合体育館	8 築地地域スポーツ施設
2	総合グラウンド陸上競技場	9 竹島地域スポーツ施設
3	総合グラウンド野球場	10 高浜地域スポーツ施設
4	総合グラウンド体育館	11 柴橋地域スポーツ施設
5	B & G 海洋センター体育館	12 本条地域スポーツ施設
6	B & G 海洋センタープール	13 国際交流公園テニスコート
7	サンビレッジ中条	14 鴻の巣公園テニスコート

答弁 約2千100万円安くなる。

質問 削減になるのか。
答弁 削減になるのか。
質問 受託すること、どのくらい経費削減になるのか。

答弁 これまでどおり市で行う。

質問 運動会とか様々な行事の企画はどのようにやるのか。

答弁 期間は平成31年度から35年度までの5年間である。

常任委員会審査

厚生環境

平成30年度胎内市介護保険事業 特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億500万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ34億6千394万3千円とするもの。本年4月から介護報酬を平均で0.54%引き上げる改定が行われたことと、地域密着型の介護サービスの利用増加及び特に他市町村に所在する特別養護老人ホーム等の入所者が増加している状況を踏まえ、サービス給付費を増額するもの。

質問 年度途中で利用者が増加しても、国庫支出金は見込めるのか。

答弁 給付費に対する特定財源である国、県支出金、支払基金交付金等については、法定割合に依拠してもらえる。

胎内市清掃センター条例を廃止する条例

現在、市清掃センターで行っているし尿等の処理業務について、平成

31年4月1日から、建設中のし尿等下水道投入施設に移行する予定であることから、現処理施設を廃止すべく、提案するもの。

質問 役目を終える清掃センターはどうするのか。

答弁 来年度中に建物を取り壊す予定である。その後整地をして、現在富岡集落から用地を借りているので現状に戻して返す予定である。



建設中のし尿等下水道投入施設

付託された他2件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

平成30年度胎内市水道事業 会計補正予算

これは、収入及び支出の総額に変更はないが、保安待機業務、水質検査業務、開閉栓業務、量水器交換業務及び緩速ろ過池管理業務について、平成31年度の業務委託を締結したいため、債務負担行為を設定するもの。

質問 インフラ整備が大きな問題になっているが、量水器交換の件数はどのくらいになるのか。

答弁 平成31年度に予定しているメーター交換件数は1千956件である。

質問 保守待機業務について、昨年は何件出動したのか。また、開閉栓業務は年間どのくらいで個人負担はあるのか。

答弁 平成29年度は夜間が24件、休日は109件である。保守待機中の開閉栓業務は63件であり個人負担はない。

質問 全額でなくとも、個人負担があってもよいのではないか。

答弁 近隣の自治体の状況も見ながら十分検討していきたい。

胎内市中条駅前広場条例の一部を改正する条例

この条例は中条駅東西自由通路及び中条駅西口広場の完成に伴い、今後指定管理者制度による管理・運営ができるよう所要の改正を行うもの。

質問 委託料はいくらと想定しているのか。

答弁 限度額を1千600万円としているが、今後選定委員会等で内容を決めていきたい。

質問 条例とは離れるが、トイレに車いすが入らないということだが、状況を把握しているか。

答弁 原因は施工ミスである。ただちに依頼し、1月中には改善される予定である。



中条駅東西自由通路

付託された他3件についても可決すべきと決定した。

関会中所管事務 調査報告

厚生環境常任委員会

『胎内市手をつなぐ育成会との懇談会』

厚生環境常任委員会では昨年の11月28日に障がいのある子どもたちの保護者で構成される、胎内市手をつなぐ育成会との行政懇談会を行った。

議題は「地域生活支援拠点等の整備について」と「特別支援学校生徒の進学について」であり、高齢化を辿る障がい者の親亡き後の、地域での包括的な支援体制づくりについて、切実な意見を伺った。

特別支援学校生徒の卒業後の進路については、就労支援施設に受け入れの余裕がなく、定年もないため空きが出るのが少なく、家庭で対応せざるを得ないとのことであった。

他にも制度的なショートステイの利用制限や、移動支援の回数についても意見が出た。

委員からは地域生活支援拠点の対象範囲についてや、包括的支援について多機能拠点整備か面的整備のどちらが胎内市に適しているのかといった質問が出た。

胎内市でも国の基本方針に基づき、平成32年度までの地域生活支援拠点の整備を目標と設定している。今回の行政懇談会を受けて、利用者のニーズを把握して一刻も早い整備が必要と考える。



会派視察報告

志政会

11月12日からの二日間、福井県大野市にあるパークホテル九頭竜を訪問し行政視察を行った。ここには、

オートキャンプ場のほかスキー場及び釣り堀が併設されており、ロイヤル胎内パークホテル周辺の環境と重なる部分が多い。オートキャンプ場は福井県内において人気ランキング1位とのことである。全62区画のうち2区画は手ぶらで来場しキャンプを体験することが可能である。キャンプ場とホテルが隣接しているため、指定管理者は一体的に運営を行っており、300円で入浴が可能なほか荒天時の避難場所としてホテルの施設を利用することができる。

こちらのオートキャンプ場は車が通る車道は舗装されているが、車を止めるスペースとテントスペースはフリーサイトとなっており舗装されていない。また、それぞれのサイトに電源や水道などはない。胎内市のキャンプ場も車道を舗装するだけで

オートキャンプ場とすることが可能であると思われる。あわせて安価にて風呂に入れることでキャンプ場としての人気は高まる。昨今のキャンプはお手軽で綺麗であることが好まれるように感じる。ロイヤル胎内パークホテルの風呂を利用できるなら、満足度も高まるものと思われる。



視察先のパークホテル九頭竜

H31年 **議会の動き**
平成31年第1 回定例会日程(予定)

2月

- 14日 議会運営委員会
- 21日 第1回定例会本会議(初日)
- 26日 議会運営委員会
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 厚生環境常任委員会

3月

- 1日 まちづくり常任委員会
- 8日 会派代表質問
- 11・12日 一般質問
- 13・14・15日 予算審査特別委員会
- 19日 本会議(最終日)

私は一年生の時からバドミントンをしています。バドミントンの練習はシャトルを打つだけではなく、体力をつける動きなどもしています。みんなで仲良く練習するのがとても楽しいです。



きのと小学校 6年生
齋藤 愛梨奈 さんの作品です。

表紙の写真 「胎内市の未来を担う子どもたち」

- 私の将来の夢は…
- 石山 拓弥さん (小6) 設計士
 - 琴弥さん (小3) 声優
 - 菜瑠弥さん (5歳) アイスクリーム屋さん

議会報モニターアンケート結果(主なもの)

No. 58 (平成30年12月15日発行)を見て

◎決算審査特別委員会について(P2~P4)
経費の事を考えると仕方ないとは思いますが、円グラフがカラーですと、より見やすいのかと思います。白黒写真なので、明るさの調整は難しいですね。撮り方を工夫してみたいかがでしょうか。

◎一般質問について(P9~P12)
議員の顔写真と質問タイトルが大きくなって良かった。前回同様、質問内容の写真が暗くて見にくい。カットが入って理解出来る。

◎常任委員会審査及び討論、議決結果について(P13~P15)
各審査項目の意義についての説明が冒頭に掲載されているので、その後の質問と答弁が理解しやすい。議決結果については、議案の内容が表形式で簡潔にまとめられ見やすい。

◎表紙・裏表紙(編集後記等)について
表紙の子どもたちの笑顔にとっても癒されます。また、題字の上手さにいつも感じています。

◎その他、市議会に関する意見・提言など
最近、ある新聞の文字がゴシック体と楷書体をミックスした字体に変更したページがありました。大変見やすいので、検討されたら良いのでは。

編集後記

平成も残すところあと3か月となりました。今まで慣れ親しんできた平成が去っていくのはとても寂しい気がありますが、これから来る新しい時代が私たちに夢や希望を与えてくれるものであることを願っています。
ところで、今年も亥年です。物事を成就するために、はたして前を指して突き進んでいくことはとても大切なことだと思います。ただ、突っ走りすぎたり、夢中になりすぎたりして「鹿を追うもの山を見ず」(猪ではないが)の状態に陥らないように注意していかねばならないと思っています。議会だよりの編集においても広い視点にたつて議会の情報を市民の皆様にお伝えできるよう委員一同取り組んでいく所存でございます。
(渡辺 秀敏 記)

◆平成31年2月15日 ◆発行責任者 議長 薄田 智

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-1269-3 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ